

市報における環境保全体体の紹介について

令和2年10月1日号



環境保護団体に聞く①
この自然環境を後世に残すため
NPO法人 いわふね地域エコセンター
理事長 加藤 治郎さん（瀬波温泉）



各小学校のプール清掃にEM菌を使用。清掃前に投入することで藻や悪臭がなくなり、掃除がしやすくなります

●問い合わせ
環境課環境政策室
☎53・2111（内線3320）

私たちが、いわふね地域エコセンターは、健康に生活できる循環型社会の形成に寄与することを目的に平成12年12月に設立した法人で、市および岩船郡内の自然環境の保護から家庭ごみの処理まで、さまざまな活動を行っています。特に「EM菌」の働きを活用した水質改善や清掃、家庭から出る生ごみから発酵肥料（うんご）に力を注いでいます。

EM菌とは有用微生物群のことであり、乳酸菌や酵母菌、光合成細菌など、私たちにとって有益な菌が集まったものです。米のとぎ汁などはそのまま流すとよくありませんが、とぎ汁でEM菌の液を作ることができます。

私たちエコセンターでは、種菌を買い、それを培養して使用しています。瀬波温泉噴騰場脇で、温泉熱を利用してながら年中培養しています。

河川や小学校のプールにおいて、EM菌投入による効果が出ています。ぜひ、ご家庭の清掃などでも試してみてくださいと思います。

令和2年11月1日号



環境保護団体に聞く②
地球温暖化を防ぐために、この地から
村上市地球環境を守る会
代表 梅田 久子さん（山居町一丁目）

●問い合わせ 環境課環境政策室 ☎53-2111（内線3320）



スーパーでCOOL CHOICE（温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動）普及活動の様子

私たちの会は、地球温暖化対策の推進を図るため、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき「新潟県地球温暖化防止活動推進員（市の推薦により県が委嘱）」である市内推進員4人で構成しています。地球温暖化防止の啓発のためにさまざまな活動を行っています。平成11年から継続して委嘱を受け、私の活動も22年目になります。

主な活動としては、市内の保育園や幼稚園、小中学校、介護施設などにゴーヤの苗を配り、グリーンカーテンの普及を図っています。一般の人にもお配りしていますので、必要であればお問い合わせください。また、市の出前講座にも登録し、地球温暖化や3Rのこと、省エネ生活のヒントなどについて、民話や人形などを使い、楽しく学んでいただけるような講演を行っています。小学生向けの講座も対応していますので、ぜひ活用していただければと思います。

「地球温暖化防止」と言うと大きなテーマに感じますが、グリーンカーテンやライトダウンなど、地域でできる省エネの推進を図り、村上市の推進員としてこれからも活動をしていきたいと思っています。

令和2年12月1日号



環境保護団体に聞く③

この地の貴重な植物を守り、引き継ぐ

セナミスミレを育む会

代表 石井 秀逸さん (瀬波上町)

●問い合わせ 環境課環境政策室 ☎53-2111 (内線3320)



▲ 瀬波小児童との観察会の様子



調査結果を
まとめた冊子

セナミスミレを育む会が設立され18年が経過しました。地域を取り巻く自然環境は、地球温暖化や生態系の異変などが顕著に表れるようになってきています。このような中、会も当初はセナミスミレの保護・増殖ばかりを考えていましたが、他の浜辺の植物と共存していることに気づき、環境の変化により、セナミスミレの生育範囲が微妙に大きくなったり、小さくなったりすることが分かってきました。そこで毎年、保護柵周辺の外来種植物の除去やごみ拾いなどの環境整備を行い、セナミスミレの株数を調査し、前年度の増減を比較し、結果をまとめています。

毎年ではありませんが、瀬波小学校5年生と浜辺でセナミスミレの観察会を実施し、いかにセナミスミレが貴重な植物か理解していただき、環境フェスタで発表をしてもらいました。

セナミスミレは絶滅危惧Ⅱ類に指定されるほど減少していますが、この地に残された貴重な植物の保存のため、これからも継続した活動をしていきたいと思えます。

令和3年1月15日号



環境保護団体に聞く④

他には見れないこの地の生物を後世へ

いわふね自然愛好会

会長 富樫 繁春さん (早稲田)

問い合わせ 環境課環境政策室 ☎53-2111 (内線3320)



▲ 観察会の様子

当会の主な活動は、自然観察会、自然調査、学習支援、講演会の開催などです。これらの活動は、自然調査報告会、環境フェスタ展示などを通して紹介することで、環境の保護保全の活動にも力を入れてきました。また、調査報告書を図書館に寄贈し、自然の現状を広く市民に知っていただく活動も続けてきました。その他にも、遊歩道の樹木名の名札かけ、アメリカネナシカズラの駆除、マダラナニワトクボの保護活動、絶滅危惧種の保護活動にも力を注いでいます。

村上・岩船地方は、多様な自然に恵まれ、他の地域では滅んでしまった生物がたくさん温存されています。これらを後世へ引き継いでいくために、これからも微力を尽くしていきたいと思えます。



問い合わせ 環境課環境政策室 ☎ 53 - 2111 (内線 3320)



▲し尿処理場アクアセンターにソーラーパネルを設置



▲朝日みどり小学校3・4年生を対象にした出前授業の様子

村上市とおらってにいがた市民エネルギー協議会(以下、おらって)は、持続可能な低炭素まちづくり推進のためのパートナーシップ協定を平成30年3月に締結し、活動を継続しています。

私たちはみんな、地球環境と無関係に生きることはできません。地球温暖化をストップするため「わたしにも何かができる。」そう思えるように広く呼びかけていきたいと思っています。

特に、子どもたちへの出前授業は、私たちの希望です。彼らは真すぐに現状を学び、自分のこととして課題を見つけ、できることを進めてくれています。

SDGs(持続可能な開発目標)で掲げられている17目標は、多様で互いに関わりあっており、世界中の人々が協力することが重要です。「おらって」も、目標達成に向けて貢献していきたいと考えています。子ども園・小中学校・町内会などの出前授業も承ります。ご一緒に活動しましょう。

来月の3月1日号掲載予定の(株)都市環境緑化も含め、計6団体の紹介記事を連載します。